

## 目次

Contents

### 特集

いまなぜ、「地方創生」なのか  
～ サービス産業がもたらす  
効果とは ～ … 3

### 事例

旭川市旭山動物園（北海道旭川市） … 5  
日本食べる通信リーグ（岩手県花巻市） … 6  
兵吉屋（三重県鳥羽市） … 7

日本サービス大賞  
フォーラム開催 … 8

イベント・レポート  
SPRING シンポジウム 2016  
in 福岡 … 9

SPRING シンポジウム 2016  
in 高松 … 10

Report JCSI  
競合他社が変化する時代に  
異業種のサービスを  
ベンチマークする重要性 … 12

生産性分析レポート … 14

SPRING 活動報告 … 15

インフォメーション … 16



## Spring View Point

### 地方を元気にする サービス

会員の皆様には、日頃よりご支援を賜り、誠にありがとうございます。

7月に東京で開催された「第1回日本サービス大賞フォーラム」には、大変多数の方にご参加いただき、関心の高さを実感しました。受賞事業者の方から直接聞くそのサービスの取り組みには、さまざまな知恵や工夫があり、多くの方にベストプラクティスとして共有していただくことが大変有益です。今後はこのような機会や場をさらに広げていきたいと考えています。

今号の特集では、そのベストプラクティスのうち、地方や地域を元気にするサービスを取り上げます。地方創生大臣賞を受賞したサービスは、地域の特性をうまく取り込み、周囲を巻き込んで元気の輪を広げていくものがほとんどです。お住まいの地域にもきっと元気の源となるサービスが育つ可能性があるはずです。

さて、日本サービス大賞は、隔年での実施と決まりました。詳細な応募要領等は来年春頃に発表予定です。今後も「優れたサービス

をつくりとどけるしくみ」に着目してまいります。

最後に、代表幹事として多方面にわたりご指導いただき、本年6月に永眠された故・秋草直之氏は、日本サービス大賞の創設には殊更強い思いをお持ちでした。急逝直前の表彰式では優秀賞の授与に臨み、今後本賞が一層注目され、盛り上がり上がっていくことが、サービスの発展に必ずや寄与すると、何度も熱心に説いていたことを、ぜひ皆様にもお伝えしたいと思えます。



特集

# いまなぜ、「地方創生」なのか

## ～サービス産業がもたらす効果とは～

出典：第1回日本サービス大賞事例集

### 地方創生がめざすものとは

第2次安倍内閣が打ち出した「地方創生」というキーワード。それぞれの地方や地域が、各地の特色を活かし、自分たちの手で自律的かつ持続的なまちを築いていこうという考えだ。

地方主体のまちづくりについての議論は、今に始まったことではない。首都圏や都市部への一極集中による弊害、農村の過疎化、地方産業の衰退など、高度経済成長期以降、国政の大きな課題としてたびたび議論され、時の政権下でさまざまな政策がとられてきた。だが、現在に至るまで、根本的な解決には至っていない。21世紀に入ると、少子高齢化がますます加速し、2000年代半ばからは、いよいよ人口が減少し始めた。生産年齢人口も減り続け、この傾向は今後さらに拍車がかかると予想されている。

こうした影響を真っ先に受けるのは、まず地方だ。高齢化が進み、若年層の都市部への流出に歯止めがきかない地域などは、まちの体力が不足しており、放っておけば衰退の途をたどる。昨今は、こうした課題

が一部の地域に限られた話ではなく、国全体の成長を阻害する要因として懸念されている。

そこで、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することをめざし、強い推進力でこの課題に取り組んでいこうというのが地方創生である。

### 戦略から実行フェーズへ

内閣に設置された「まち・ひと・しごと創生本部」では、地方創生の実現に向け、長期ビジョンと総合戦略を打ち出している。総合戦略では「東京一極集中の是正」「若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現」「地域の特性に即した課題解決」を基本的視点に掲げ、政策の推進と共に、地方公共団体に対し、情報・人材・財政面の支援を展開している。

地域レベルで見ても、地方創生に向けた動きは活発化しつつある。2016年3月末までに、47都道府県、1737の市区町村で「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、各地の実情に即した具体的な取り組みが始まっている。